

事業所名	ももの家（放課後等デイサービス）				支援プログラム	作成日	7年	3月	15日
法人（事業所）理念	発達に遅れや偏りのあるお子さんを対象として、子どもたちが家族や地域との繋がりの中で「誰もが輝ける未来がここにある」できるを伸ばすことを目指します。								
支援方針	お家の方の声にしっかりと耳を傾け、お子さんの発達状況や課題に合わせた支援を提供します。ご家庭、幼稚園、保育園、こども園、小学校、地域と密接に連携しながら、一人ひとりにしっかりと寄り添い「できる」を伸ばしていきます。 (1) 集中力や感性を養う (2) 社会性を育む (3) 体力や体幹を鍛える (4) やりとりや言葉を楽しむ								
営業時間	月～金	9時	分から	17時	分まで	送迎実施の有無	送迎あり		
	指定土曜日	9時	分から	17時	分まで				
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・職員や友だちと共に安心して過ごせる環境を整えます。（子どもの健康状態の把握、状況に応じて個別対応やパーテーションの使用、クールダウンできる環境作り）・定期的に通うことができるように興味や関心に合わせた教材や活動を用意し、お子さんの生活リズムを作るお手伝いをします。・来所時のルーティンの定着を図り、絵や文字のスケジュール表や時計を使用し、時間の経過や見通しを持って行動することができるようにします。・基本的な生活スキルの習得を図ります。宿題をする習慣を身に付ける。身の回りの清潔や身だしなみへの気づき（シャツをズボンに入れる、ハンカチを畳む、鼻をかむなど）。自分で考えて選択できる力を身に付けたり、年齢にあった自己管理ができるように支援します。危険な場所や遊び方を知り、安全に気を付けられるように支援を行います。また、避難訓練を行い、災害時の安全の確保について取り組みながら知る機会を作ります。活動や製作を通して季節の変化を知り、季節に合わせた過ごし方や心地よさを感じられるような取り組みを行います。							
	運動・感覚	日常動作や活動の中で、姿勢の保持や体幹を安定させバランスをとりながら動くことや身体の複数の部分を意識して動かすなど、運動や基本的技能の向上を目指します。また空間認知力を養います。着席して取り組む活動を設定しています。ラジオ体操やなわとびなどリズムに合わせて体を動かす運動を行い、体のバランスや体幹などを鍛え、健康な体力づくりに取り組みます。手や指を使う日常的な動作に必要な動作スキルの獲得に取り組みます。							
	認知・行動	物の機能、属性、形、色、大きさや重さ等の物の様子について、言葉と結びつけながら、抽象的な概念を学ぶ機会を作ります。数量や数字の順番など数に関することを段階的に学べるようにします。平面や立体の様々な教材を使い、学習したことが日常生活に広がりやすいように工夫します。スケジュール表や時計を使用し、時間の経過や見通しを持って自ら行動することやスムーズに切り替えが出来るよう支援します。『静』と『動』の時間を設定しメリハリをもって過ごせるようにプログラムを組みます。危険な場所や遊び方を知り、安全に気を付けられるように支援を行います。 ■概念形成：空間・時間・数・仲間分けなど ■数量・大小・色等の習得：数量・形の大きさ・重さ・色の違いなど ■感覚・認知：こだわり・視覚認知・聴覚認知・必要な情報を取得し行動につなげる ■注目する力：集中する・情報の中から大事なことを選ぶなど。							
	言語コミュニケーション	語彙力や文章理解力の向上を目指し、「聞く」「話す」というコミュニケーションの基盤を作り、日常生活で使える言葉の種類を増やします。小集団生活の中で友だちと関わることで、相手の気持ちや行動を理解し、自分の考えや思いを適切に表現できるように支援します。自分の発言が相手に受け止められる、相手の言うことに応じて発言したり行動したりすると相手が肯定的な対応をしてくれるという経験を通じて、コミュニケーションの楽しさを感じられるように支援します。自己紹介や見たものや経験したことを発表する機会を作ります。異年齢の子との関わり方を知ったり、協力ゲームで仲間意識を持つことができるように支援します。 ■言語：生活の中で必要な言葉の習得・物や体験と言葉の意味を結びつけるなど ■コミュニケーション：親しみをもって挨拶をする、他者とのやり取りや要求、SOSの発信・自分の考えや思いを伝える・適切な言葉や態度など。 ■聞く力：絵本の読み聞かせ・相手の話を聞く・理解する、相手の気持ちや感情を理解する・読み取るなど ■発表：自分の考えや気持ちの表出、見ものや経験したことを発表するなど ■読み書き・計算：平仮名、カタカナ、漢字、数字、計算などの習得							
人間関係社会性	個別や小集団での活動を通して挨拶、順番やルールを守る大切さを知り、場面や状況に応じた適切な振る舞いができるようになるなど、社会の中で必要なスキル（協調性・社会性）の習得を目指します。支援員や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを経験し、遊びの幅が広がり、達成感や喜びを共有すること、また自己肯定感を高める支援をします。ゲームで負けた時、失敗した時、思い通りいかない時に、気持ちを落ち着かせる方法（場所や時間）や気持ちに折り合いをつける方法（交渉や調整）を支援員と一緒に考えたり、自分の言動がどうだったのか、など振り返りを行います。良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動ができるよう支援します。公共施設を利用し、地域との交流を図ります。必要に応じてソーシャルスキルトレーニングを実施します。 ■集団への参加：周りに興味を持つ・みんなに合わせる・協力するなど ■ルールを理解する、守る ■気持ちのコントロール・気持ちに折り合いをつける・我慢、諦め・SOSの発信								
家族支援	・送迎時や連絡帳、LINEを使用しお子さんの様子や取り組み内容を共有します。 ・モニタリングや面談を行い、様子の共有や見直しを行います。 ・困り事があった時は、管理者や職員にいつでも相談できる環境を整えます。 ・保護者の就労状況に応じて学校や自宅に送迎します。 ・保護者交流会を実施します。（年2回）				移行支援		・必要に応じて、小学校、学童、他事業所と情報の共有を行います。		
地域支援・地域連携	・各関係機関（就学先、相談支援事業所、他事業所）と情報交換、共有を行います。 ・早島町障がい者をつとめ会への参加。				職員の質の向上		・職員の外部研修への参加、年に3回以上の内部研修を実施します。 ・虐待防止・身体拘束適正化委員会を実施します。 ・リスクマネジメントを実施します。 ・ミーティングで、現在の支援方針について検討、お子さんや支援方法に関する情報を共有します。		
主な行事等	・避難訓練（2回）・クッキング・製作・買い物体験・夏まつり・施設外活動（公共の場や施設を利用）・クリスマス会・お別れ会								